

環境経営レポート

活動期間 : 2023年10月1日
～ 2024年9月30日

発行日: 2024年 12月 20日

有限会社 河口商店

目 次

	ページ
I 企業概要 -----	1
II 廃棄物処理概要 事業許可一覧 廃棄物処理量 -----	2
II 3 産業廃棄物収集運搬 -----	3
II 4 産業廃棄物 処分 -----	4
II 5 産業廃棄物の処理工程 -----	5
III 実施体制 実施体制 役割・責任・権限 -----	6
IV 環境経営方針 -----	7
V 今年度目標、中長期目標 -----	8
VI 環境経営計画 -----	9
VII 実績・評価 -----	10
VIII 次年度の主な活動内容 -----	11
IX 環境関連法規への順守状況並びに違反、訴訟等の有 -----	12
X 代表者による全体評価と見直しの結果 -----	13

I 企業概要

1 社名及び代表者名

有限会社 河口商店
代表取締役 河口 誠

2 住所

本社工場 : 愛知県岡崎市伊賀町字七丁目117番地
井田西工場: 愛知県岡崎市井田西町8-43

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

代表取締役 河口 誠 TEL0564 24-1374

4 設立年月日

1993年3月16日:有限会社 河口商店を設立

5 資本金・出資金の額

1993年3月 300万円

6 事業内容

産業廃棄物収集運搬・処分業 一般廃棄物収集運搬業 資源回収

7 売上高

323百万円(2023年10月～2024年9月)

8 事業年度

10月～9月

9 従業員

10名

事務部門:2名

営業部門:1名

業務部門:7名

※兼務職員は主たる部門に計上しています

10 活動範囲

当社の全ての組織および活動を対象とする。

Ⅱ 廃棄物処理概要

1 事業許可一覧

産業廃棄物収集運搬業

	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
愛知県	第02300002692号	平成30年7月2日	令和7年5月10日	優良認定
岐阜県	第02100002962号	令和5年7月2日	令和10年7月1日	
静岡県	第02201002692号	令和4年12月25日	令和9年12月27日	
岡崎市	第10510002692号	平成30年5月11日	令和7年5月10日	優良認定

特別管理産業廃棄物収集運搬業

	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
愛知県	第02350002692号	令和6年10月2日	令和11年10月1日	

産業廃棄物処分業

	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
岡崎市	第10520002692号	平成30年5月11日	令和7年5月10日	優良認定

一般廃棄物収集運搬業

	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
岡崎市	第10004号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	
豊田市	第1147号	令和5年7月4日	令和7年7月3日	
安城市	指令29ご推第19-26号	令和5年11月1日	令和7年10月31日	
幸田町	30指令幸第1-15号	令和5年3月1日	令和7年2月28日	

2 産業廃棄物処理量 2023年度

廃棄物収集運搬量 3808 t
廃棄物処分量(中間処理) 2973 t

3 産業廃棄物 収集運搬

産業廃棄物

以下の品目について、工場及び建設現場等から収集し、処分場に運搬します。
石綿含有廃棄物については、自社積替保管施設で保管し、処分場に運搬します。

・積替え、保管を除く

廃酸・廃アルカリ・銻さい・動物のふん尿・ダスト類 廃油・

以上6品目

・積替え、保管を含む

燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)

・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくずコンクリートくず及び

陶磁器くず(石綿 含有産業廃棄物を含む)

がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

以上 12品目

以上の17品目の水銀使用製品産業廃棄物を含む

水銀保有ばいじん等を除く

注) 愛知県・岐阜県・静岡県は、同品目で積み替え保管は除きます。

特別管理産業廃棄物 (積替え、保管を除く)

以下の品目について、工場及び建設現場・病院等から収集し、処分場に運搬します。

引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等、

特定有害廃油(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを含むもの)

特定有害汚泥(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを含むもの)

以上9品目

運搬施設の種類・数量

4tパッカー車	7台	増トッパッカー車	2台
4tアームロール車	3台	増トッアームロール車	2台
4tユニック車	1台	幌付き軽四ダンプ	1台
3tウイング車	1	平車(1t・1.5t)	2台

積替保管

本社工場

積替保管施設の所在地

愛知県岡崎市伊賀町字七丁目117番

面積

704.27 m² (保管面積 73.28 m²)

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む)

・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず

(石綿含有産業廃棄物を含む)

がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) 水銀使用製品産業廃棄物を除く

水銀保有ばいじん等を除く

保管上限量

105.89m³

井田西工場

積替保管施設の所在地

愛知県岡崎市井田西町8番43

面積

742.28m² (保管面積 64.42 m²)

産業廃棄物の種類

燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず

・ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類 水銀使用製品産業廃棄物を含む

水銀保有ばいじん等を除く

保管上限量

151.84m³

4 産業廃棄物 処分

以下の品目について、受け入れた廃棄物を圧縮・選別・減容固化処理します。

圧縮

廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
以上5品目

選別

廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき
以上8品目

減容固化

廃プラスチック類
以上1品目

★水銀使用製品産業廃棄物・水銀保有ばいじん等を除く

処理施設

設置場所

愛知県岡崎市井田西町8番43（代表番地）

圧縮

処理能力：

廃プラスチック類：	47.28m ³ /日	(5.91m ³ /h)
紙くず：	45.12m ³ /日	(5.64m ³ /h)
繊維くず：	47.2 m ³ /日	(5.9 m ³ /h)
金属くず：	34.88m ³ /日	(4.36m ³ /h)
ゴムくず：	35.84m ³ /日	(4.48 m ³ /h)

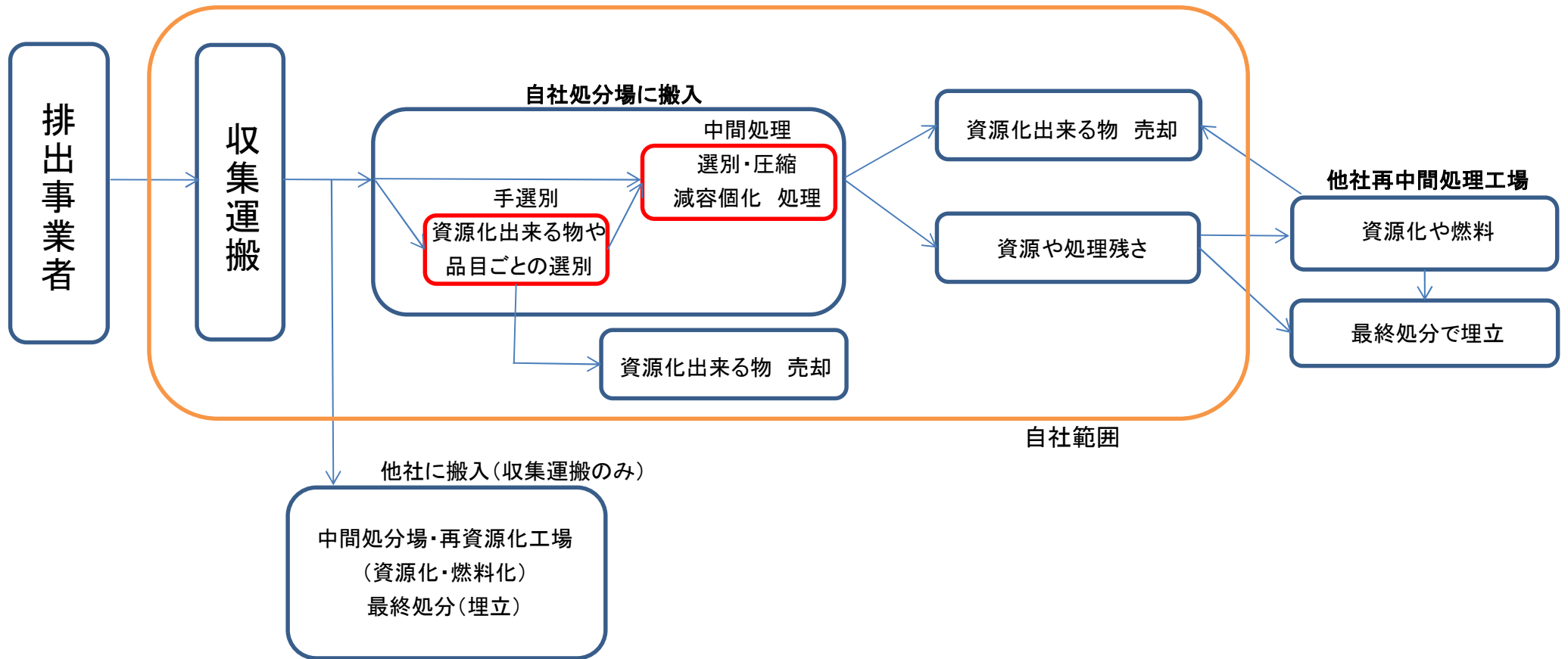
選別（永磁式磁選機）

処理能力： 136m³/日 (17m³/h)

減容固化

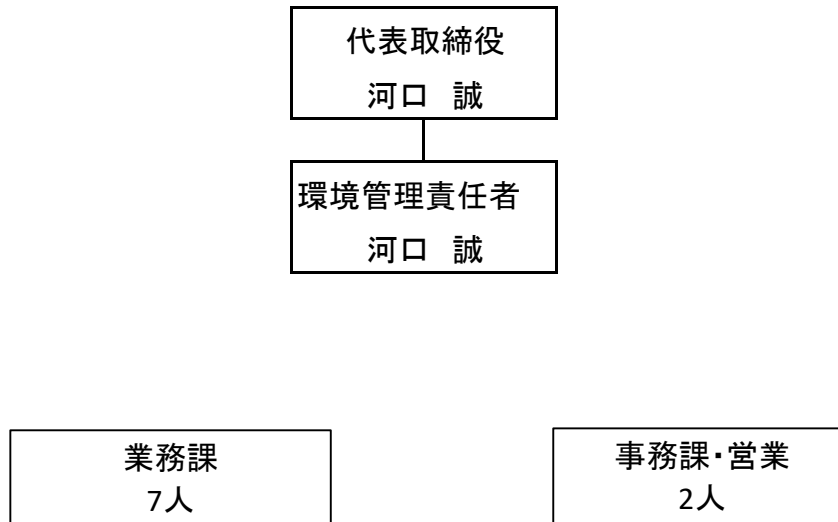
処理能力： 0.4t/日 (0.05t/h)

5 産業廃棄物の処理工程



Ⅲ 実施体制

1 実施体制



2 役割・責任・権限

代表取締役	・環境方針の決定 ・環境管理責任者の任命 ・人、設備、費用の準備 ・全体の評価および見直し
環境管理責任者	・マネジメントシステムの監視 ・パフォーマンスの監視 ・環境関連外部との窓口 ・文書、記録の管理 ・順守評価の実施
部門責任者	・部門における計画の遂行管理 ・実施状況の確認・記録管理
部門担当者	・部門の計画の実施 ・自己の役割の認識

Ⅳ 環 境 経 営 方 針

基本理念

私たちは、いかなる時も法律を遵守し、明日の自然・地球環境を守るために無駄をなくし省エネルギー化を図っていきます。
その為には、人材教育や全従業員で目標を達成出来るよう啓発活動を行ないます。

基本方針

- 1 収集運搬を行うにあたり環境関連法規等及び当社が同意するその他要求事項を順守し、環境保全に努めます。
- 2 環境経営システムの存続的改善を行い、ステップアップをはかります。
- 3 事業活動に伴う環境負荷を低減するために、次の活動を積極的に推進します。
 - (1)二酸化炭素排出量の削減
 - (2)廃棄物の削減のために再生利用の邁進
 - (3)水使用量の削減
 - (4)4Sの実施
- 4 車両整備の実施や運転手の教育を実施し、エコドライブの推進を行います。
- 5 産業廃棄物の選別精度の向上により再資源化率の向上に取り組みます。

2016年 8月 10日作成

2022年 5月 20日改定

有限会社 河口商店

代表取締役 河口 誠

V 今年度経営目標、中長期経営目標

基準：2022年10月～2023年9月まで

基準年		1年目(今期)	2年目	3年目
	2022年10月～	2023年10月～	2024年10月～	2025年10月～
	2023年9月	2024年9月	2025年9月	2026年9月
CO2排出量の削減 (kg-CO2)	100% 172,344	基準年度比 100% 172,344	前年度比 100% 172,344	前年度比 99% 170,621
電気の削減 (kWh)	100% 8,178	基準年度比 100% 8,178	前年度比 100% 8,178	前年度比 99% 8,096
燃料の削減 (ガソリン) (L)	100% 6,507	基準年度比 100% 6,507	前年度比 100% 6,507	前年度比 99% 6,442
燃料の削減 (軽油) (L)	100% 59,368	基準年度比 100%	前年度比 99%	前年度比 99%
		59,368	58,774	58,187
水の使用抑制 (m3)	100% 124	基準年度比 100% 124	前年度比 100% 124	前年度比 99% 123
4Sの実施	月に1回以上4Sの 実施	月に1回以上4Sの 実施	月に1回以上4Sの 実施	月に1回以上4Sの 実施
処理後のリサイクル率 (%)		基準年度と同じ	基準年度と同じ	基準年度と同じ
	65.5	66	66.5	67

VI 環境活動計画

責任者 河口 誠

目標 1

電気の削減

- ・不要な照明の消灯(シールでの呼びかけや指導)
- ・エアコンの設定温度調整 (夏場28度・冬場22度)
- ・エアコンのフィルター清掃

目標 2

化石燃料の削減

- ・エコドライブの推進
- ・定期的な車輛の整備
- ・燃料の使用量の把握
- ・タイヤの空気圧の点検

目標 3

水の削減

- ・節水の呼びかけ (シールでの呼びかけや指導)
- ・洗車や散水時の節約

目標 4

4Sの実施

- ・月に1度以上の4Sを実施

目標 5

産業廃棄物のリサイクル率を上げる

- ・選別の徹底により再資源化率を上げていく

以上の項目を通年を通して実施します。

VII 実績・評価

		目標値	実績	評価・コメント	
		2023年			
		10～9月			
売上の増減率			119.2%		
CO2排出量の削減(kg-CO2)	実数値	172,344	188,261	原単位で達成できた。 CO2の発生量の98%が化石燃料から発生しているなか、電気由来のCO2は大幅に減らすことができたが、業務増加の影響から化石燃料の使用量が増えてしまった。	
	原単位	205,434			
電気の削減(kWh)	実数値	8,178	7,727	実数値・原単位共に達成 井田西工場の低圧電力で使用割合の多い減容固化業務が処理量減少に伴い処理時間を低減し使用量を減らすことができた。	
	原単位	9,748			
燃料の削減(ガソリン)(L)	実数値	6,507	6,648	原単位で達成できた。 業務量が増加している中、営業車の使用頻度が増えている状況だが、前年比2%の増加で抑えることができた。	
	原単位	7,756			
燃料の削減(軽油)(L)	実数値	59,368	65,522	原単位で達成できた。 業務量が増加しており、トラックの使用頻度が増えている。前年比10%の増加であるが、比較的抑えることができた。	
	原単位	70,767			
水の削減(m3)	実数値	124	135	原単位で達成できた。 ほこり対策の散水量が増えてしまった。散水頻度とほこりの発生量は反することであり減らすことが難しい。ハード的な対策も公道部分の未舗装部分から発生しており対策が困難である。	
	原単位	148			
4Sの実施	目標・実績	月1回実施	実施できた	達成することができた。	
処理後のリサイクル率	実数値	66	70.2	達成することができた。 廃棄物の内容が変わっており、前年度比で、金属くず・紙くずなどのリサイクルできる物が大幅に増加している。今後ともリサイクルできるものは積極的にリサイクルしていきます。	
	原単位				

PRTR制度該当の化学物質の使用はありません。

2023年度CO2排出係数は 中部電力 0.421kg-CO2/kWh/

原単位＝実数値×売り上げの増減率

VII 次年度の主な活動内容

目標	主な活動内容	次年度の計画
電気の削減	・不要な照明の消灯(シールでの呼びかけや指導)	シールで呼びかけは、達成できたが、また、従業員の意識が高まっていない。次年度は、今まで以上の呼びかけを実施する。
	・エアコンの設定温度調整(夏場28度・冬場22度)	事務所の場所が、鉄筋建て工場の中2階にあり、じゅうたんや断熱材を敷き詰めたがまだ底冷えがあるが、ひざ掛けや、足元の暖房を使用し目標達成に向けていきたい。
	・エアコンのフィルター清掃	達成できた。次年度の引き続き実施していきたい。
化石燃料の削減	・エコドライブの推進	呼びかけを実施し、従業員の意識が高まっているが、次年度は、今まで以上の呼びかけを実施する。
	・定期的な車輛の整備	不具合や異音時の速やかな報告の徹底をすることが出来た。引き続き実施していきたい。
	・燃料の使用量の把握	実施することができた。引き続き実施していきたい。
	・タイヤの空気圧の点検	実施することができた。引き続き実施していきたい。
水の削減	・節水の呼びかけ(シールでの呼びかけや指導)	鉄板を敷き詰めたことで散水量を減らすことが出来ているが、まだ、節水が出来る予知がある。そのために周知徹底を行って行きたい。
	・洗車や散水時の節約	実施することができた。引き続き実施していきたい。
4Sの実施	・月に1度以上の4Sを実施	実施することができた。引き続き実施していきたい。
リサイクル率向上	・選別の徹底により再資源化率を上げていく	実施することができた。引き続き実施していきたい。

Ⅸ 環境関連法規への順守状況並びに違反、訴訟等の有無

評価者: 河口 誠
遵守評価日: 2024年10月17日

法律等の名称	当社に適用される要求事項	責任者	遵守評価欄		
			良	否	備考
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 11～14条	飛散、流出、浸透、悪臭等の防止 鼠、蚊、蝇、等の害虫の発生防止 掲示板(60cm×60cm以上) 契約の締結 契約書への許可証の添付 交付から60日(B2・D票)及び180日(E票)以内に未返却の場合 →遅延原因の解明 →都道府県知事への届出 産業廃棄物管理票交付等状況報告書を県知事に6月30日までに提出	環境管理責任者	○		問題なし
廃棄物の適正な処理の促進に関する条令(愛知県) 条例第4,7,8条及び同施行規則第8条	産業廃棄物を排出する際には、委託しようとする処分業者が、その産業廃棄物を処理するための能力を有していることを確認。 確認した結果を記録し、5年間保管 確認日から1年を経過した後、同じ業者に委託する際も同様に確認、記録 処分の委託先が不正処分を行っていることを知ったときは、搬入停止などの措置を行った上で、その内容を県に報告。 飛散防止、保管基準の順守、委託者への通知 運搬時の表示・書類携行 前年度の実績を毎年6月30日までに報告書を県知事に提出	環境管理責任者	○		問題なし
騒音規制法 5・6・10・14条 県民の生活環境の保全等に関する条例	地域、時間区分に対する騒音基準の順守 工業地域 AM8時からPM7時 70dB 準工業地域 AM8時からPM7時 65dB	環境管理責任者	○		問題なし
振動規制法 5・6・10・14条 県民の生活環境の保全等に関する条例	地域、時間区分に対する振動基準の順守 工業地域 AM7時からPM8時 70dB 準工業地域 AM7時からPM8時 65dB	環境管理責任者	○		問題なし
自動車NOX・PM法 4,6,12条	自動車排出窒素酸化物の排出抑制の規制遵守	環境管理責任者	○		問題なし

特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 4条	特定特殊自動車を使用する者は、排ガス抑制のために必要な措置を講ずる。	環境管理責任者	○		問題なし
家電リサイクル法	該当する商品は、リサイクル法ルートに引き渡す	環境管理責任者	○		問題なし
自動車リサイクル法	該当する商品は、リサイクル法ルートに引き渡す	環境管理責任者	○		問題なし
フロン排出抑制法 法2、4条 法19の3 法20条の2	・エアコン廃棄時の適正な処理 ・建設用重機のエアコン点検	環境管理責任者	○		問題なし
岡崎市環境保全条例	アイドリングストップ	環境管理責任者	○		問題なし

※本社工場は、準工業地域

※井田西工場は、工業地域

上記法令等について、順守評価を行なった結果、違反は有りませんでした。
また、関係当局より訴訟、違反等の指摘は過去3年間ありません。

X 代表者による全体評価と見直しの結果

地球環境を守る第一歩として、地域環境を守り、また、教育・啓蒙活動により全従業員が環境に対する意識を持続し、事業活動のあらゆる面で環境への影響を低減すべく継続的改善活動を行っていかねばならない。

コロナウイルスの活動制限が完全に解除され、経済活動に動き出しがみられ、当社としての活動量が増え産業廃棄物の処理量が前年比120%増加。運搬量も106%の増加し、業績からみると非常によかった半面、環境面では、多くの化石燃料を使用し、多量のCO2を排出する年となってしまったが、その中でも、実績・評価から評価すればエコアクションの活動が浸透しており、良い活動が出来た1年だった。次年度も今の状態を維持しながら新たな対策に取り組んで行きたい。

環境経営方針・実施体制は、現状として変更しないが、環境経営目標及び環境経営計画は、必要に応じ変更を行って行きます。

2024年10月17日

代表取締役社長 河口 誠